

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

志誠会
草賀 章吉



中心市街地の活性化策は

Q 全国的に地方都市の中心市街地の衰退が課題であるが、一向に解決の兆しが見えない。市長の柔軟思考で中心市街地の大胆な再生・活性化策の見解は。

「人」中心のゆとりある空間整備を進めていく

A 現在、新たな中心市街地活性化の方向性を検討しており、今年度から「新たなビジネススタイル応援事業費補助制度」を創設しました。さらに、「移住等促進拠点整備事業費補助制度」を新設し、市内の空き家等を活用する事業者等を支援していきます。また、「まちなかウォーカーブル推進事業」として、今年度「歩いて楽しめるまち掛川」の実現を目指した社会実験を予定しています。今後は、公共空間を活用したにぎわい創出に向け、

車中心から人中心に転換したゆとりある空間整備を進めていく予定です。

新東名森掛川インターチェンジを活かす戦略は

Q 新東名は2023年には神奈川県、愛知県と全線開通となる見込みである。森掛川インターチェンジを活かす発想や戦略について伺う。

A 掛川の美しく豊かな自然景観を観光資源として活用する観点、ゴルフなど、環境保全にも十分に配慮しながら活用することにより、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る戦略を検討していきます。



新東名高速道路

【その他の質問事項】

・久保田市長の所信表明について

創世会
高橋 篤仁



吉岡彌生記念館の運営は

Q 東京女子医科大学の撤退を受け、来場者の減少も危惧される。館内の展示監修等についても今後同大学との関係を継続すべきと考えるが見解を伺う。

今後も引き続き大学側と連携を深めていく

A 市民の健康維持・増進を目的とする「掛川市健康調査MONAC」では、健康や看護をテーマに市内をフィールドとして研究していただいた成果を展示するなど、特別展だけでなく様々な面で大学のご協力をいただいております。今後も引き続き、大学側と連携を深めていきたいと考えています。

掛川市海岸線地域の発展は

Q 海岸線には多くの企業があり、安心安全の象徴である防潮堤整備について、今後構造物の設置が必要となるエリアが多くなるが、令和6年度で進捗率80%達成は可能なのか、またサイクリングロードの堆積飛砂について懸念されるが対策はあるか伺う。

防潮堤整備の令和6年度で進捗率80%達成は、不可能ではない

A 構造物設置エリアにおける整備手法の検討や、無償の盛土材確保のための調整を行い、令和6年度末で進捗率80%を達成できるように、事業を進めていきます。また、サイクリングロードは、堤防の最上部に移設し、更に海側の森林を再生することにより、砂の堆積の抑制を図ります。

